

浜田市議会議長様

陳情番号	128
付託先委員会	総務文教委員会
審査結果等	

サン・ビレッジ浜田アイススケート場の活用のあり方について、機能転用(用途変更)した場合の利用想定、収支想定について、分かりやすい説明を求める陳情

2月6日の全員協議会で、申崎議員さんからのスケート場について「利用者数がもし、これくらい来ていただければやっていけるんだということがもし分かれば教えてください。」という質問に対し、教育部長は「スケート場は50ページで9,200人と想定している。53ページで体育館36,600人、56ページ、36600人が人工芝の数字を積み上げています。体育館、人工芝とかの部分は、利用団体とかのヒアリングで年に何回大会があるとか、細かいところの積み上げによって一応試算をした人数ということになります。」と答弁していますが、申崎議員さんの質問への回答になっていません。どの程度の利用者数があれば、収支が均衡すると考えるのかを質問なさっており、市民にもこの報告書からはそれが見えない状態です。

コンサルタントが示した用途変更後の利用想定についてどう考えているのか担当課に確認したところ、利用人数について「純増とは言えない。」「期待をこめた数値だ。」という回答もありました。この施設で学校利用の想定頻度や部活動の想定頻度には無理があります。

この想定のような利用(毎週土日で年間100日は大会利用、平日も毎日7時間以上の利用)やこの想定のような利用者数あたり利用料金収受をできている体育館施設は浜田市にありません。学校利用でこのような頻度で、人工芝や体育館での利用の需要が校長会等で示されているのかも疑問です。移動手段、移動距離やルートを考えると、部活動での平日利用も現在需要は無いでしょうし、物理的に無理なカレンダーです。これを判断材料として使ったということであれば、この想定について「現実的だ」と考える根拠を示す必要があります。

これらの利用が今浜田市には無い利用で、「純増」と言えないならば、市内の他のスポーツ施設、公共施設から利用者が流れるということを示し、公共施設やスポーツ施設再配置の基本的な考え方である「重複する機能の施設を増やさない」に反する判断ということになります。スポーツ推進審議会でもこの指摘が委員の方からありましたが、事務局から合理的な説明がありませんでした。

利用者想定は、年間の収支想定に直結しています。教育部長のおっしゃる「比較検討のための資料」の単年度収支、ライフサイクルコストにも大きな影響を与える内容です。このため、それぞれの用途について、示された収支想定や利用想定は、その信頼性について説明できる必要があります。

「利用団体への聞き取り」「市内施設の現状から」と説明がありましたが、「現在の利用頻度」について聞き取りをなさったとしても、それが「現在ある施設ではまかなえない需要がある」ということにならないのではないのでしょうか。

「市内施設の稼働率は100%に近い」という表現もありますが、指定管理施設のモニタリングレポート等と言う稼働率とは、1日に1組でも1時間でも利用があればその日が稼働日としてカウントされる仕組みではないでしょうか。稼働率が100%でも、その日の施設の予約カレンダーの時間割は余裕があることも多いと考えられるため、既存の施設や学校開放による新規需要の受入れ容量を把握して、それでも全く足りない場合にのみ、重複する機能の施設を増やしても良いのではないのでしょうか。そうした調査や検討は行われたのかどうかも不明です。

また、利用の想定について、「細かいところの積み上げによって、一応試算をした人数ということになります。」と説明がありましたが、ある属性の40人が2時間を週に何回、年間にそれを何回利用するため合計何時間でいくらの利用料金収入になるということを積算なさっています。しかしこの想定では240の方が決まった間隔で利用し、その合計で年間のべ25,000人の利用を確保できるとされています。年間利用者数は36,600人の想定なので、残りの10,000人強は大会利用とイベント利用によるものと想定なさっています。決まった240人が繰り返し利用するスポーツ施設と、1万人利用があれば、年に1回だけ重複しない4000人の市民がスポーツ利用する施設、どちらが「より多くの市民に受益実感があるか」と考えるのか」検討されたのかも不明です。

現在市がもっている施設の受入れ余力と、それでは受入れられない需要についてきちんと調査し、その結果多くの利用があると想定したのではないならば、信ぴょう性の低い想定によって施設整備をして、当初の想定に対して実際の利用者は少なく、収支は悪く、結果住民の福祉の向上にはならず、むしろ住民負担を増やす結果につながらないとも限りません。

お忙しいところ大変恐縮ですが、今回の判断材料とされている用途変更した場合の想定内容について、「本当に現在の市の施設では受入れ切れない需要がこれだけあるんだ」という分かりやすい説明をしていただけますよう、執行部に働きかけて下さい。よろしくお願い申し上げます。

2024年2月9日

浜田市国分町

三島 淳寛

